

図-6.2.6.1(2) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図 (平成 27 年 11 月)

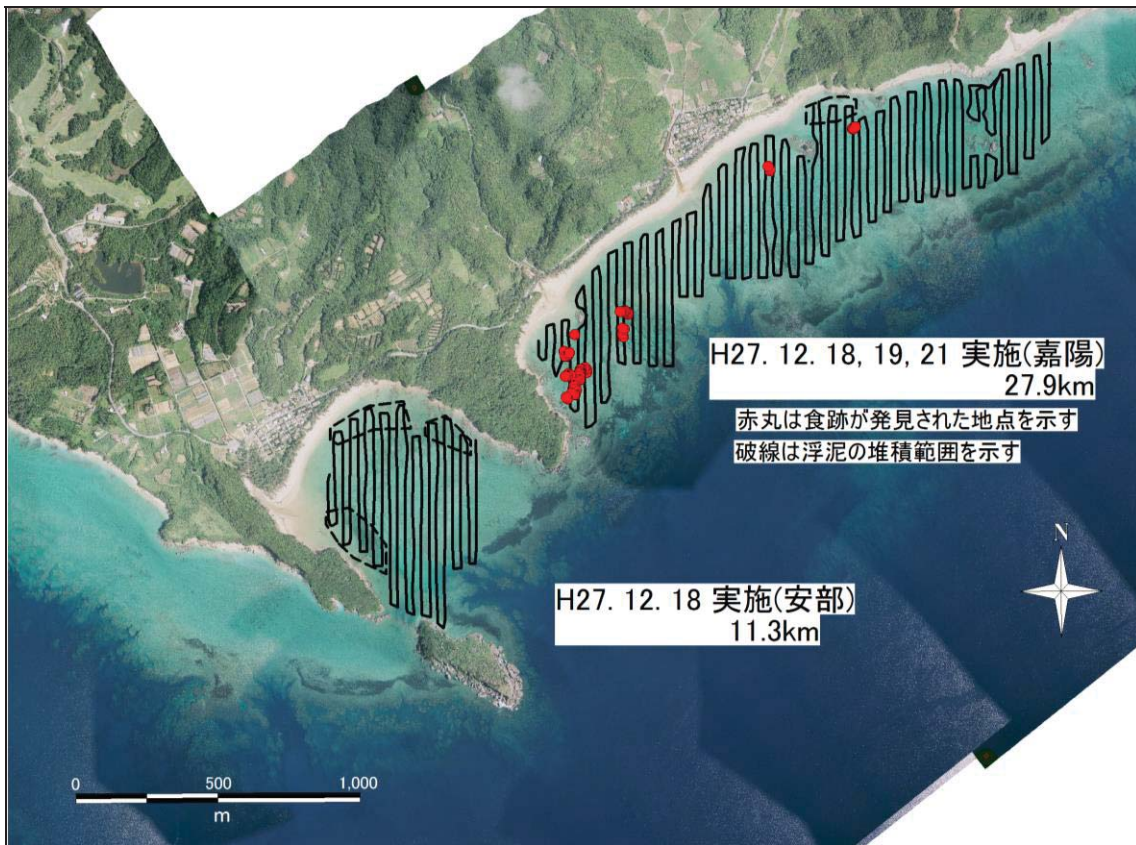


図-6.2.6.1(3) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図 (平成 28 年 12 月)

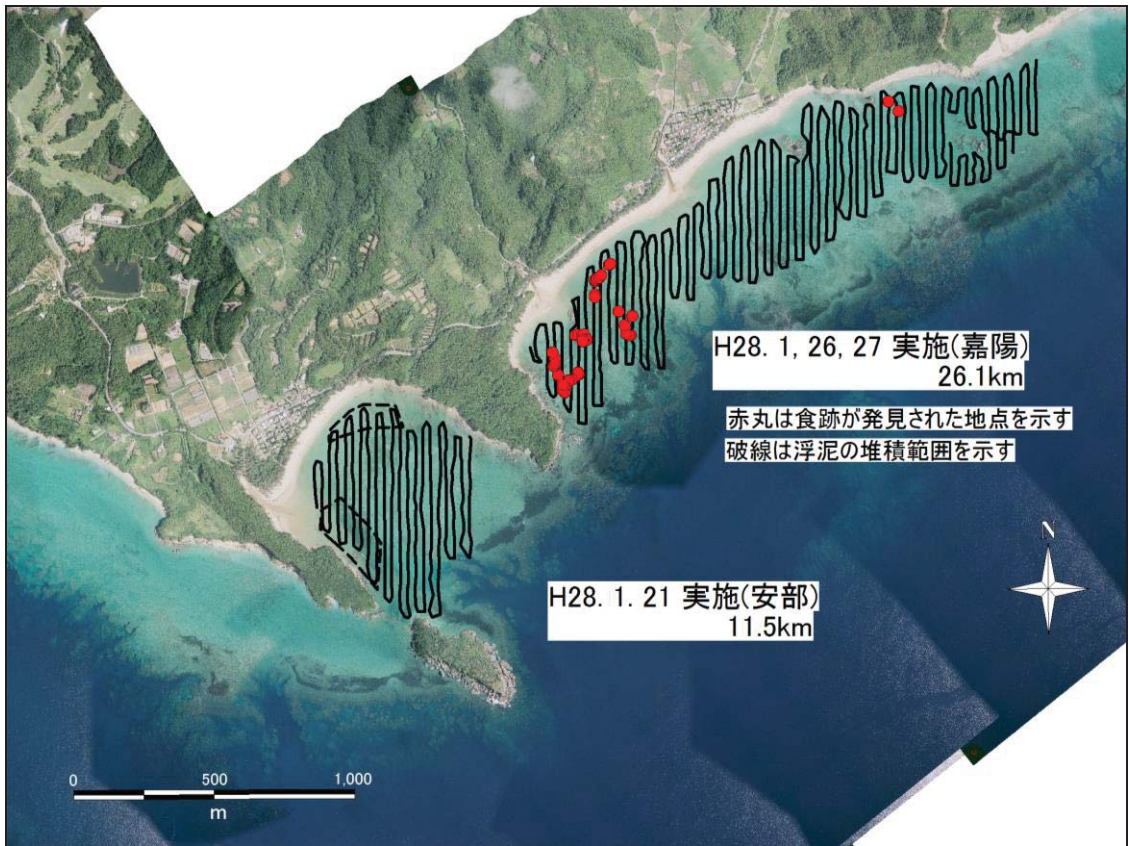


図-6.2.6.1(4) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図 (平成 28 年 1 月)

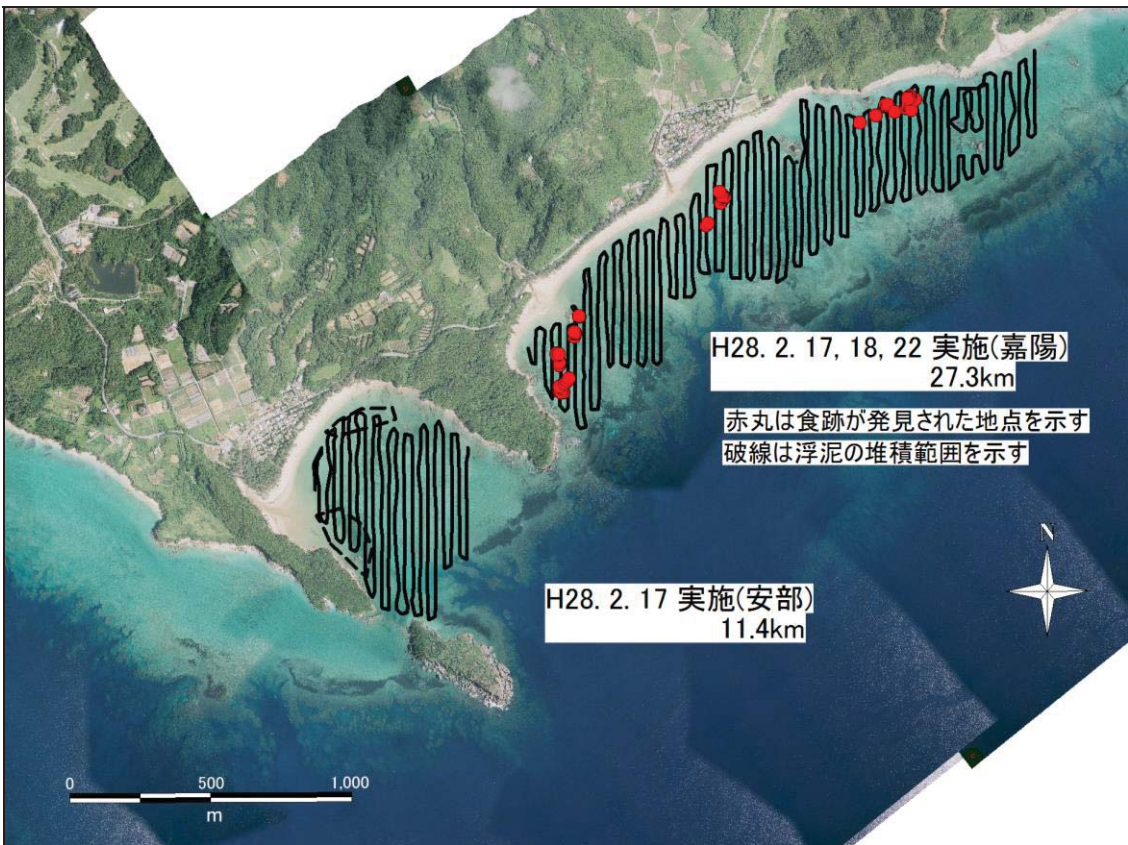


図-6.2.6.1(5) マンタ調査の航跡と食跡確認位置図 (平成 28 年 2 月)

6.2.7 海域生物（海上ヤード周辺の海域生物）

調査結果を表-6.2.7.1に、各地点の海底状況を図-6.2.7.1に示します。

夏季の各調査地点における海域生物の種類数は、海藻草類が3～10種類、サンゴ類が0～29種類、底生動物が10～26種類、魚類が3～54種類、これら分類群の合計が17～110種類でした。

冬季の各調査地点における海域生物の種類数は、海藻草類が2～10種類、サンゴ類が0～17種類、底生動物が5～24種類、魚類が5～31種類、これら分類群の合計が18～69種類でした。

種類数は夏季、冬季ともに、砂や砂泥からなる底質の調査地点に比べて、岩や礫・転石が分布する調査地点の方が多傾向がみられました。

なお、潜水作業が可能な20m以浅において、底生動物等の重要な種は確認されませんでした。

表-6.2.7.1(1) 海上ヤード周辺の海域生物調査結果（夏季）

調査時期：平成26年9月15、16日

項目		海上ヤード予定地点			対照地点			合計
調査地点		St. 2	St. 3	St. 5	St. 1	St. 4	St. 6	
底質外観		砂	砂泥	砂泥、礫	砂泥	砂泥、岩、礫	岩、礫、砂	
調査時水深		11.6m	16.7m	25.3m	16.9m	16.9m	15.8m	
種類数	海藻草類	4	4	7	3	10	5	24
	サンゴ類	0	0	8	0	23	29	48
	底生動物	10	11	20	11	26	22	83
	魚類	3	7	25	10	26	54	99
	合計	17	22	60	24	85	110	254

表-6.2.7.1(2) 海上ヤード周辺の海域生物調査結果（冬季）

調査時期：平成27年1月29、30日

項目		海上ヤード予定地点			対照地点			合計
調査地点		St. 2	St. 3	St. 5	St. 1	St. 4	St. 6	
底質外観		砂泥	砂泥	砂泥、礫	砂泥	砂、礫、転石	礫、砂	
調査時水深		14.5m	16.5m	26.5m	16.3m	16.7m	13.6m	
種類数	海藻草類	4	8	10	7	8	2	24
	サンゴ類	0	0	6	0	14	17	32
	底生動物	9	6	13	5	24	19	63
	魚類	9	5	11	6	20	31	64
	合計	22	19	40	18	66	69	183




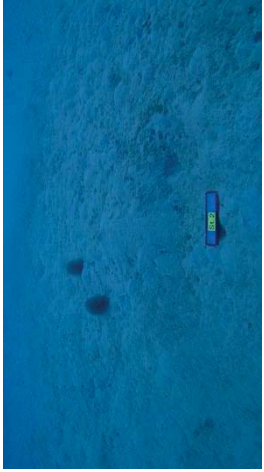








St. 1 (対照地点)		St. 2 (海上ヤード予定地点)	
夏季(H26.9.15) 砂泥 水深16.9m		夏季(H26.9.15) 砂 水深11.6m	
冬季(H27.1.30) 砂泥 水深16.3m		冬季(H27.1.30) 砂 水深14.5m	
St. 3 (海上ヤード予定地点)		St. 4 (対照地点)	
夏季(H26.9.15) 砂泥 水深16.7m		夏季(H26.9.15) 砂泥, 岩, 礫 水深16.9m	
冬季(H27.1.29) 砂泥 水深16.5m		冬季(H27.1.29) 砂, 礫, 転石 水深16.7m	
St. 5 (海上ヤード予定地点)		St. 6 (対照地点)	
夏季(H26.9.16) 砂泥, 礫 水深25.3m		夏季(H26.9.16) 岩, 礫, 砂 水深15.8m	
冬季(H27.1.29) 砂泥, 礫 水深26.5m		冬季(H27.1.29) 礫砂 水深13.6m	

図-6.2.7.1 海上ヤード予定位置及び周辺における海底状況 (設置前)

6.2.8 海域生物（トカゲハゼ）

トカゲハゼの調査結果を表-6.2.8.1に、出現状況を図-6.2.8.1に示します。

当該海域におけるトカゲハゼの生息場所は、大浦湾奥部（大浦川河口干潟及び二見地区地先干潟）であり、今回の調査では二見地区で12個体、大浦川河口干潟で2個体の成魚が確認されました。

大浦湾奥部（大浦川河口干潟及び二見地区地先干潟）であり、今回の調査では成魚は二見地区地先干潟で12個体が、大浦川河口干潟では2個体が確認されました。幼稚魚は両地区ともに確認されませんでした。

表-6.2.8.1 トカゲハゼ調査結果

調査時期：平成28年2月10日

項目		二見地区 地先干潟	大浦川 河口干潟
成魚	個体数	12	2
	生息面積(m ²)	約300	110
	体長(mm)	約100	約100~120
幼稚魚	個体数	—	—
	生息面積(m ²)	—	—
	体長(mm)	—	—

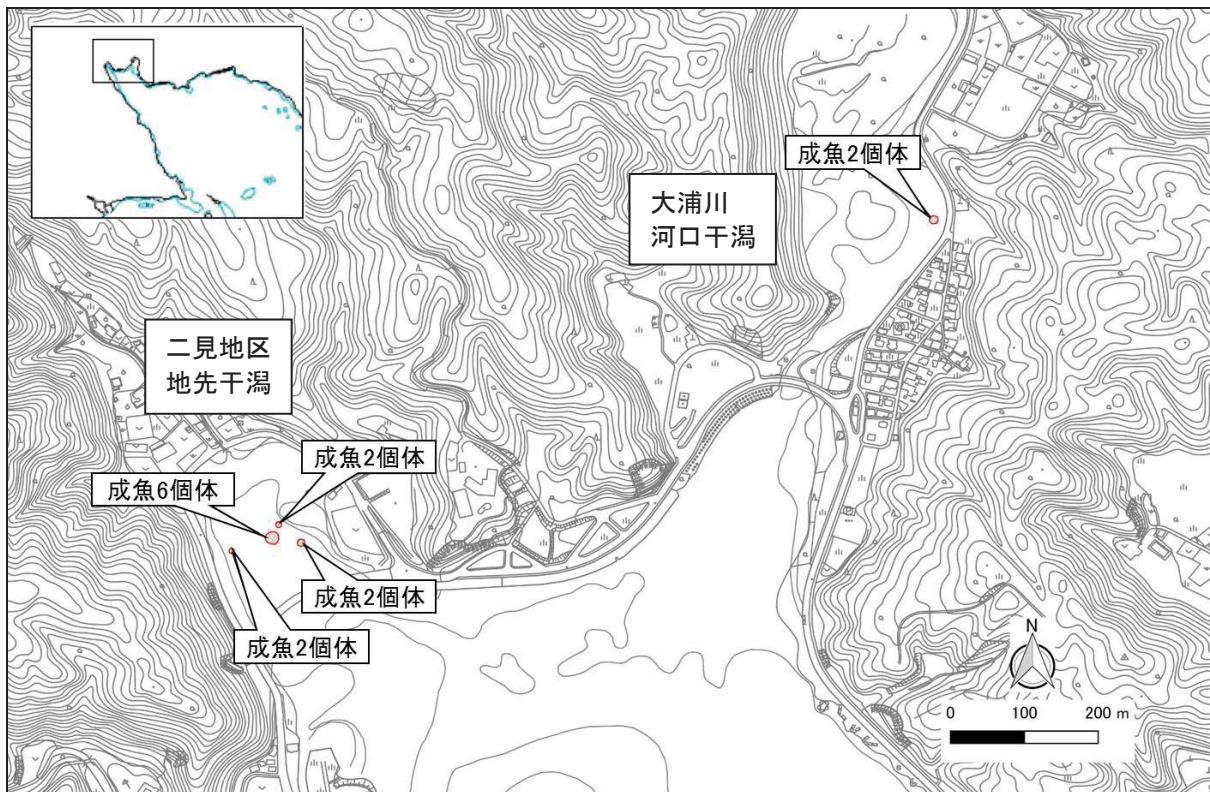


図-6.2.8.1 トカゲハゼの出現状況（平成28年2月10日調査）